

報告募集要項

第9回「トランスナショナルな日本」新世代ワークショップ 日本の多様なパブリックス——トランスナショナルと比較の視点から Japan's Multiple Publics: A Transnational and Comparative Perspective

開催日：2026年11月20日（金）～22日（日）

開催場所：法政大学（東京・市ヶ谷）

主催

- 法政大学・国際日本学研究所 (HIJAS)
- アルザス欧州日本学研究所 (CEEJA)
- 「国際日本研究」コンソーシアム (CGJS)

報告者には、法政大学（市ヶ谷キャンパス）への交通費・滞在費が支給されます（詳細は下記）。

概要

今年度のワークショップでは、日本における「パブリックス (Publics)」を考察する報告を募集する。「パブリックス」とは、国家や私的領域の外側に位置する領域であり、ここでは、人びとや情報がつながり、さまざまな相互作用が生まれる。社会理論家のユルゲン・ハーバーマスの「公共圏」と呼んだ政治的コミュニケーションは、パブリックス内における実践の一形態である。ただし、パブリックスで展開される相互行為は、政治的な議論に留まらない。近年では、文芸、芸術、音楽、演劇、祭り、祭祀、食、ゲームなど、幅広い文化の相互行為をも包含する概念として捉えられるようになってきている。さらに、パブリックス内でのコミュニケーションは、理知的な討論に限らず、感情をともし非言語的あるいは身体的な実践をも含むものである。そしてそれらは、対面的な場、メディア空間、仮想空間など、時に国境を越えながら、多様な空間で成立する。このような意味でのパブリックスは、これまで無数に日本の市民社会に現れてきた。中世および江戸時代においては、ユニークな文化的パブリックスが出現した。明治・大正時代には、政治・文化を問わず様々なパブリックスが隆盛を極め、日本の近代化を推し進めた。戦後日本においては、メディアや社会運動などのパブリックスが、時に国境を超えながら、民主主義の深化や社会の変革を推進した。また、高度経済成長期においても、大衆文化やカウンターカルチャーに根ざしたパブリックスが多数出現し、またそれらは他国へと伝播していった。近年では、国境を容易に越える仮想・オンライン空間といった新たな形態のパブリックスへの注目も高まっている。こうした理解に基づき、本ワークショップでは時代や形式（対面・メディア・オンライン）を問わず、日本のパブリックスの豊かで多様な形態を探究する報告を募集する。特に、そのトランスナショナルな側面、すなわち、越境的な相互作用を通じて日本のパブリックスがどのように形成されたのか、また、日本のパブリックスが海外におけるハイブリッドなパブリックスの形成にどのような影響を与えたのかに焦点を当てた論文を求める。あわせて、他国との比較の視点を用いて日本のパブリックスの特徴を捉えた報告も歓迎する。

基調講演

TBA

過去のワークショップ情報

- 2025: [「日本と西洋のトランスナショナルな関係〔再訪〕」](#)
- 2024: [「トランスナショナルな日本の空間」](#)
- 2023: [「現代日本のトランスナショナルな変容」](#)
- 2022: [「日本のトランスナショナリズムと帝国」](#)
- 2021: [「日本研究とトランスナショナリズム」](#)

ワークショップ形式

- 報告者：10名程度
- 報告時間：各40分（報告20分＋質疑応答20分）
- 報告言語：英語（質疑応答は英語・日本語）

応募資格と応募方法

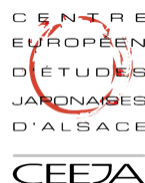
- 応募資格：若手研究者を主な対象とする（大学院博士後期課程、博士研究員、博士号または単位取得満期退学後間もない者、など）
- 採択者については現地参加のための下記助成をおこなう
 - 東京への往復の旅費の支給
 - ◇ 日本国外からの参加者：居住地の最寄り空港から東京（羽田または成田空港）までの往復航空券を支給
 - ◇ 日本国内からの参加者：居住地から東京までの航空券または電車賃を支給
 - ワorkshop期間中の宿泊費*（3日間）および食費（朝昼夜）の支給
 - *宿泊については、市ヶ谷キャンパスまでの移動に電車で90分以上かかる参加者にのみ提供
- 応募方法：下記の応募書類一式を「[応募フォーム](#)」から提出してください
 - 報告タイトル（英語と日本語）及び報告要旨（英語300ワード）
 - 経歴書（研究・教育歴、研究業績等）書式は問わない

応募締め切り：2026年9月6日（日）[日本時間]

連絡先

- 法政大学・国際日本学研究所
高田 圭（専任所員・准教授）

E-mail: hijas-ws@ml.hosei.ac.jp Tel: 03-3264-9682 <https://www.hosei.ac.jp/hijas/>



「国際日本研究」コンソーシアム

Consortium for Global Japanese Studies